

御所見通信

2018年11月30日

12月号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

学校を良くしよう

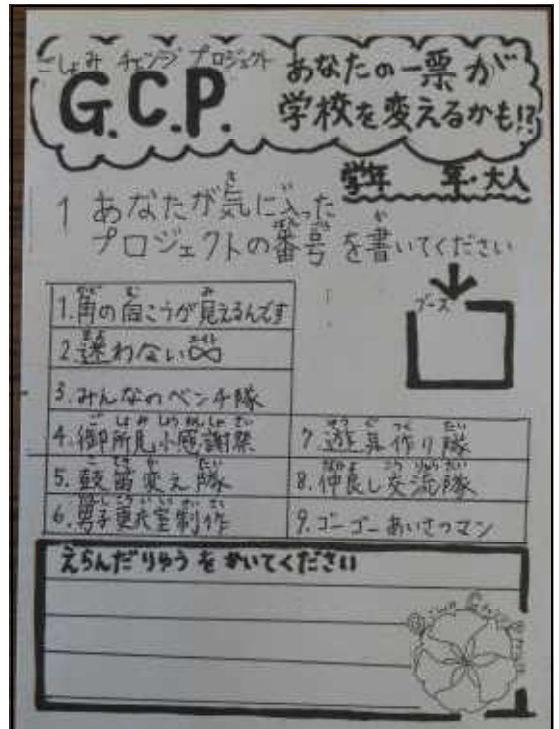
GCP（御所見チェンジプロジェクト）は、総合的な学習の時間に6年生が取り組んでいる学習活動です。御所見小学校を今よりももっと良くしていくために考えました。先日の“御小まつり”でも体育館で発表しました。6年生の子どもたちなりに考えた9プロジェクトが発表されました。

本年度、御所見小学校は神奈川県「小・中学校における政治的教養を育む教育」の実践協力校（小・中2校ずつ県内4校）となりました。6年生も、身近な問題を自分のこととしてとらえ、話し合い、様々な意見を考え合わせながら、より多くの合意形成をし、決定までの過程を大切にしながら、実現できることを探っています。

26日（月）には、実践協力校として、6年1組で研究授業を行いました。大学の先生、市教育長、県・市指導主事、県内中学校の先生等をお迎えして、参観していただきました。クラスでどれに取り組んでいくか、得票数にしばられずに、しっかり子どもたちが話し合う様子に、お褒めの言葉をたくさんいただきました。自分自身、とても勉強になる研究会でした。

どのプロジェクトも実現までには、費用・作業・時間等、解決しなければならない課題がたくさんあります。しかし、それらを解決して、実現させた成功体験から得た自信や自己有用感は、何物にも代えがたい貴重なものとなるはずです。一生懸命取り組めば取り組んだだけ、得られるものは大きくなります。だから、できるだけ多くの子どもたちが納得できる着地点を見つけて、実現に少しでも近づけて欲しいと考えています。校長として子どもたちと一緒に、実現への可能性を探って行きたいと考えています。

校長になってから、地域の方々と話をすると、「御所見地区を良くしていきたい」という熱い思いがひしひしと伝わってきます。郷土愛の強い地域だと感じています。6年生の子どもたちの「学校を良くしよう」という思いが、将来、地域に目が向き、「地域を良くしていきたい」という思いや行動につながってくれることを期待しています。



御小まつりで使った投票用紙